



時 栃 報 幼

題字／栃木県知事 福田富一氏

第 145 号

令和3年9月20日

一般社団法人 栃木県幼稚園連合会

〒320-0032 宇都宮市昭和1-3-10 栃木県庁舎西別館

☎028(622)2821 FAX 028(622)2816

●編集人／堀 昌道 ●発行人／石嶋 勇

■栃幼連ホームページ <http://www.youchien.or.jp>



第68回 栃木県幼稚園 教育研究大会

開会式

期日

令和三年八月十八日(水)

会場

栃木県総合文化センター

(メインホール)

大会テーマ

「新しい時代を
伸びやかに生きる」
「新しい時代に
目指したい
幼児の姿を考えよう」

参加者数

千二百四十一名

主催者挨拶

栃幼連理事長 石嶋 勇

緊急事態宣言等により、会場とリモートのどちらでも参加可能なハイブリッド型の開催予定から、リモート参加の



みの開催となりましたが、大会運営スタッフの努力により本大会を実現できたことに感謝申し上げます。

栃木県の幼児教育を背負って立つ全ての教職員には、常に研究心を持って努力してほしい。

栃木県幼稚園連合会では、新型コロナウイルス等によって停滞することがないように、保育の質を高めるための研修開催や、先生方の処遇環境等を改善していくるように振興活動を行って参ります。

本大会にご協力頂いたすべての皆様にお礼を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

来賓祝辞

感染症拡大防止の観点から、福田富一栃木県知事をはじめ、阿部県議会議員、その他の方々には、来場を控えていただくこととなった。

表彰

「幼稚園教育振興功労者」

佐藤 広志
(認定こども園
七井幼稚園)



「幼稚園教育研究功労者」

栗原 和子
(認定こども園
國學院大學栃木二杉幼稚園)

「栃幼連 永年勤続表彰者」

五十年表彰	五名
四十年表彰	八名
三十年表彰	十一名
二十年表彰	二十九名
十年表彰	九十八名

永年勤続者表彰の栄位を受けた百五十一名は、リモート画面上のテロップにより名前が紹介された。代表として、今市幼稚園の桑門比呂子氏が壇上に上がった。



講演会

一人一人の子どもに

「生きる力の基礎」を育むために
「これからの教育保育が
目指すもの」

講師 高知学園短期大学副学長
幼児保育学科長

山下 文一先生

最初に「二十年後の社会を想像してみよう」と始まった講演会。



時に考える時間あり、時にこれまでの振り返る時間ありと、リモートの講演会とは思えないほどの実務研修で、直接、お話を伺うことができれば、より幼児教育のこれからを担う方法を身につけられたのではないかと思います。

わかったようでわかっていない「十の姿」の考え方、「カリキュラムマネジメント」、そして、「保育者と

栃幼時報二四五号 発刊に際し

広報委員長 堀 昌道

今回の栃幼時報はコロナ禍の影響を受けて、八月に行った県教研大会の全体会は無観客、分科会については当初からリモート(Zoom)を予定していた2つの分科会のみが実施された。今号を発刊するにあたり県教研大会を始めとする各種研修事業が延期されたことに伴い、掲載ページが減少せざるを得なくなった点をご了承していただきたい。

リモート(Zoom)にて開催された第七・第十六分科会参加者からの「ふりかえりシート」に目を通すと、人それぞれに良いと思うのは違うということ、コーディネーターの先生方がどのような意図(ねらい)を持って分科会に望んでいるか別の側面から知ることができた。また、参加した教諭たちが日頃の保育にどう活かしていきたいかという思いも併せて感じ取ることができた。改めて、教育研究委員の先生方へ感謝申し上げたい。延期となった残りの十三分科会はこのような状況下を踏まえ、すべてリモート(Zoom)での開催となるが、実施時期ごとに掲載していく予定である。



して大切にすべきこととは」等、自分の園の園児の姿や保育現場を思い出しながらも研鑽を積むことができて、有意義な時間にもなった。

●「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の明確化

・手がかり

・小学校との連携

・幼児教育の質の向上の必要性

●「カリキュラム・マネジメント」の明確化

・教育課程から

・教育要領等から

・家庭・地域との連携から

・保育者同士の共通理解から

・自園の保育保育目標の実現のために

●保育者として大切にしたいこと

・自分自身の人間性

・寄り添いと温かいまなざし

●幼児理解に始まり

●心を通わせること、愛されること

「木の根っこを育んでいきたい」という最後の言葉がいつまでも

耳の奥に残り、「真の保育者」になるための

努力を惜しんではいけ

ないと、肝に命じたのは一人や二人

ではないのだろうか。

公演会

「カッリキのウキウキワイワイ

出演 歌遊び&運動会ダンス」

歌遊びユニット・カッリキ

カッ(みね かつまさ)氏

リキ(岡田 リキオ)氏



自己紹介の後、公演が始まった。歌遊びのコーナーは「むしむしじゃんけん」から始まって、「バナナ星人」におにぎりさんなど数曲を教え

ていただいたが、どれも子どもたちと楽しく遊べそうな内容だった。

著書の紹介があった後、運動会向けの「フルフルダンス」

「どんぐりマン」

「ワンパク戦隊あそびんジャー」など数曲が披露されたが、どれも運動会を盛り上げてくれるような内容だった。

お二人の歌とダンスに楽しい掛け合いが加わって、時間が経つのを忘れて研修させていただいた。リモートであったが、各園では、先生方が楽しくいっしょに歌ったり踊ったりする姿が目に見えようだった。

栃木県での公演は初めてのことだったが、「コロナ禍でこのような研修が少なくなっているなか、栃木県で公演できて大変嬉しい。これからいっしょにがんばりましょう」とのことだった。

【主な著書】(世界文化社)

『カッリキのうたあそび&運動会ダンス』CD付き(世界文化社)

『カッリキの運動会&発表会ダンス』CD付き(世界文化社)

『プリプリ五月号2020』特別付録『カッリキの保育から発展するダンス&手あそびCDブック』

自己紹介の後、公演が始まった。歌遊びのコーナーは「むしむしじゃんけん」から始まって、「バナナ星人」におにぎりさんなど数曲を教え

ていただいたが、どれも子どもたちと楽しく遊べそうな内容だった。

著書の紹介があった後、運動会向けの「フルフルダンス」

「どんぐりマン」

「ワンパク戦隊あそびんジャー」など数曲が披露されたが、どれも運動会を盛り上げてくれるような内容だった。

お二人の歌とダンスに楽しい掛け合いが加わって、時間が経つのを忘れて研修させていただいた。リモートであったが、各園では、先生方が楽しくいっしょに歌ったり踊ったりする姿が目に見えようだった。

栃木県での公演は初めてのことだったが、「コロナ禍でこのような研修が少なくなっているなか、栃木県で公演できて大変嬉しい。これからいっしょにがんばりましょう」とのことだった。

【主な著書】(世界文化社)

『カッリキのうたあそび&運動会ダンス』CD付き(世界文化社)

『カッリキの運動会&発表会ダンス』CD付き(世界文化社)

『プリプリ五月号2020』特別付録『カッリキの保育から発展するダンス&手あそびCDブック』

自己紹介の後、公演が始まった。歌遊びのコーナーは「むしむしじゃんけん」から始まって、「バナナ星人」におにぎりさんなど数曲を教え

ていただいたが、どれも子どもたちと楽しく遊べそうな内容だった。

著書の紹介があった後、運動会向けの「フルフルダンス」

「どんぐりマン」

「ワンパク戦隊あそびんジャー」など数曲が披露されたが、どれも運動会を盛り上げてくれるような内容だった。

お二人の歌とダンスに楽しい掛け合いが加わって、時間が経つのを忘れて研修させていただいた。リモートであったが、各園では、先生方が楽しくいっしょに歌ったり踊ったりする姿が目に見えようだった。

栃木県での公演は初めてのことだったが、「コロナ禍でこのような研修が少なくなっているなか、栃木県で公演できて大変嬉しい。これからいっしょにがんばりましょう」とのことだった。

【主な著書】(世界文化社)

『カッリキのうたあそび&運動会ダンス』CD付き(世界文化社)

『カッリキの運動会&発表会ダンス』CD付き(世界文化社)

『プリプリ五月号2020』特別付録『カッリキの保育から発展するダンス&手あそびCDブック』

自己紹介の後、公演が始まった。歌遊びのコーナーは「むしむしじゃんけん」から始まって、「バナナ星人」におにぎりさんなど数曲を教え

ていただいたが、どれも子どもたちと楽しく遊べそうな内容だった。

著書の紹介があった後、運動会向けの「フルフルダンス」

「どんぐりマン」

「ワンパク戦隊あそびんジャー」など数曲が披露されたが、どれも運動会を盛り上げてくれるような内容だった。

お二人の歌とダンスに楽しい掛け合いが加わって、時間が経つのを忘れて研修させていただいた。リモートであったが、各園では、先生方が楽しくいっしょに歌ったり踊ったりする姿が目に見えようだった。

栃木県での公演は初めてのことだったが、「コロナ禍でこのような研修が少なくなっているなか、栃木県で公演できて大変嬉しい。これからいっしょにがんばりましょう」とのことだった。

【主な著書】(世界文化社)

『カッリキのうたあそび&運動会ダンス』CD付き(世界文化社)

『カッリキの運動会&発表会ダンス』CD付き(世界文化社)



第68回 栃木県幼稚園教育研究大会 分科会

16分科会

8/20(金)

小学校につながる学び

～幼児教育と小学校教育の円滑な接続～(74名)

助言者 五十嵐市郎(宇都宮市立富屋小学校・副校長)

コーディネーター 稲川 知美(宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園・副園長)

話題提起者 塩澤 恵美(那須烏山市立江川小学校・教諭)

福田 耕平(宇都宮大学共同教育学部附属小学校・教諭)

会場 宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園

この分科会で学んだことは何ですか？

小学校への円滑な接続の為に、幼稚園での経験や活動を充実させ、一人ひとりが自分で考えて発信、行動できるようにしていく大切さ。また、それに繋がるような保育内容の重要性。

幼小が「より深い連携となるためにはどうすべきか」という共通の思いを持って連絡を取り合ったり、情報交換して、同じ意識のもとで取り組むことが必要だ。

日常の保育にどのように役立てていきたいですか？

子どもたちが伸び伸びと主体的に生活するために、認められる喜びを感じたり、もっとやりたいという気持ちに導いていけるよう、一人ひとりを大切にしながら保育をしていきたい。子どもたちが目的を持ち、自分たちの事として捉え役割を持ち協力しながら、自己発揮できるようにする。



7分科会

8/19(木)

「預かり保育・長時間保育」を見直す(49名)

助言者 田島 大輔(和洋女子大学 助教)

コーディネーター 山崎 英明(認定こども園釜井台幼稚園・園長)

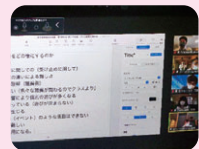
会場 認定こども園釜井台幼稚園

この分科会で学んだことは何ですか？

預かりの職員は、様々な人が関わるので、定期的にミーティングをしてチームとしてみんなで考えていかなければならない、繋がりも大切だが、その場その場で変わってくるので「今日は今日の風が吹く」といったような視点を持つということも大切だということ学びました。

日常の保育にどのように役立てていきたいですか？

こどもの目線で考えることや、子どもたちが通常保育とは違ったゆったりと過ごせる環境づくり。異年齢で関われる唯一の時間でもあると思うので、異年齢での交流や関りを広げられるような配慮。預かり保育に入る先生が接点を作れるよう、ミーティングする時間を設けたいです。





研修会だより

新規採用教諭研修

期日

令和三年五月二十八日(金)

六月 一日(火)

六月二十五日(金)

七月 一日(木)

会場

栃木県総合教育センター



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保育観察を保育映像視聴へ変更して行なわれた。

保育映像視聴では、五歳児十一月の幼稚園での過ごし方を視聴し、子どもの姿や保育士の援助について詳しく視聴した。映像の中では、子どもがあそびの中で喧嘩を始めた際に、保育者がすぐに仲裁に入るのではなく、まずは見守り子ども同士で解決できるようにしていた場面や、中身の分からないプレゼントが届いた際に、子どもたちが触ってみたり首を聞いたりし、中身が何かを予想したりする場面があった。日常の保育の中で保育者がどう援助をしたら子どもたちが過ごしやすい環境を作ることができる



か、より興味を持って活動に取り組めるか、を学んでいた。

映像を見ながら、気になった子どもの姿や保育者の援助についての一瞥気になった場面について、なぜその場面を選んだかについて、ペアで発表を行った。発表を通して、同じ場面であっても人それぞれ様々な感じ方があることを知り、一つの考え方だけではなく様々な視点を持つことが大切であるということを実感していた。また、保育者の行動・言葉かけのみだけではなく、保育者の作る環境構成がとても重要になっているという事も学び取っていた。



また今回の映像で、喧嘩が起こった際にもすぐ仲介をせずに喧嘩の様子を見守っている場面があった。保育者が全ての喧嘩の仲介をしてしまふのは簡単なことであるが、解決策を子ども同士で見つけられるように、自分たちで考え、子どもたち同士で話し合うよう促すことも大切である。子どもたちの成長する機会を与えることの大切さや、子どもの成長段階を理解しつつ子どもたちにあった援助をしていく必要があることを学んでいた。

最後に、指導助言の講師の方か

ら、子どもたちの「やってみよう」や「遊びたい」という思いが膨らむ環境を構成することの大切さや、年令にあった関わり方を意識しながら全体の様子を把握しつつ、子ども一人ひとりに寄り添って保育をすること、などのアドバイスをもらっていた。受講者は、今回学んだことを今後の子どもたちとの関わりの中で生かしていった。

スクールバス安全運転研修会

期日

令和三年八月十八日(水)

講師

宇都宮中央警察署 交通総務課

企画係長 中野大輔氏

栃交自動車学校

教務部長 石崎隆英氏



今回の研修はリモートのみで行われた。栃木県における交通安全の事例を基に、日々の交通安全についての心構えや、注意点を確認した。また、福岡県の保育園でのバス内に取り残され熱中症で死亡した事故を受け、乗車後の確認等の注意を呼び掛けた。園バスによる重大事故は、園の評判にも大きな影響を及ぼしてしまう。全国的に報道がされ、SNSによってすぐに情報が広まってしまうため、園の看板とも言える幼稚園バスの事故における影響力は想像以上である。交通事故による被害者遺族の思いについても動画を通して安全運転の重要性

を再確認した。そして、乗車している子どもたちの命に関わる大きな事故を防ぐためにも、自己管理や安全意識の再確認をしっかりと行うことが必要である。

また、幼稚園バスによる重大事故を防ぐためには、どのような事に気をつけるべきかの講話をいただいた。プロドライバーの心構えとして、「安全な送迎に向けての心の準備を行い、どんな事態に対してもいつでも対応できる準備と目的を必ず達成する」という意気込みをしっかりと持ち、運転業務に取り組む」といった事が求められる。その中で保護者からの安心安全への評価が生まれ、園への信頼に繋がる。運転手に求められる責任は重く、プロドライバーとしての誇りと自覚を持ち、安全への注意力と配慮をさらに高めることが大切である。今回、初めてリモートのみでの研修となったが、改めて安全と幼稚園バスの責任の重さを学ぶことができた。



合同就職説明会

期 日
令和三年七月一日(日)
場 所
宇都宮グランドホテル(平安の間)

参加状況

参加園数 百四十一園
参加者数 二百八十二名

参加者内訳

県内学生 二百三十八名
県外学生 四十四名

栃幼連主催の合同就職説明会は、今年で二十四回目を迎えた。昨年は新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となったので、今年は感染予防に万全を期し、人数を抑えるため地域別の二部制を導入、前後半に分けて受付時間三十分、面談時間を一時間三十分取り、前後入れ替えの間に三十分消毒するための時間を設けた。

また新型コロナウイルス感染症予防のために、関東圏内の養成校に配られたチラシにはQRコードを掲載し申し込みをして、急遽中止などの判断がなされた場合には学生にお知らせすることが



できる仕組みを取り入れた。飛沫感染予防については、園一人につき学生二人までという制限を設けるとともに、パーティションパネルの設置、フェイスガードにマスクを着用して面談に臨んだ。あまりに厳重で声が届かないという点も見受けられたが、相手に声を届けようとする熱心な姿も見られた。

年々より激しさを増す幼稚園教諭・保育士不足であるが、新卒の教員採用に向けて各園の先生が出向いて伝える有意義な説明会であった。

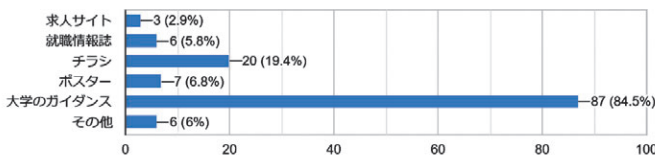
早期離職問題は学生と園側とのミスマッチによって起こると考えられる。この就職説明会はあくまで学生と園との最初の一步であり、就職を決めるまでには園を見学してもらうなどの過程を経て、納得した就職となるのが望ましいと考えられる、そうした対応が永年勤続には不可欠だ。

幼稚園、認定こども園で働くことは、未来の子どもたちを育む素晴らしい職業に就くことである。採用された先生によって子どもたちが、生き生きと遊び、より豊かになることを願っている。

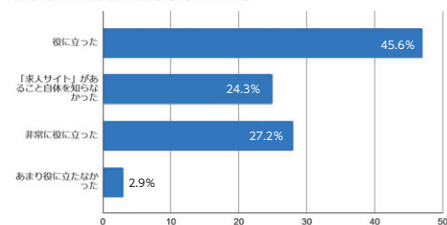


アンケート結果

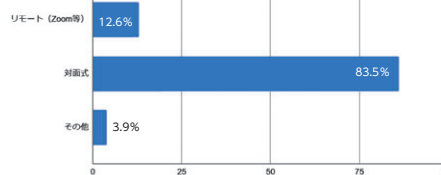
合同就職説明会はどこから情報を得ましたか？(複数可)
103件の回答



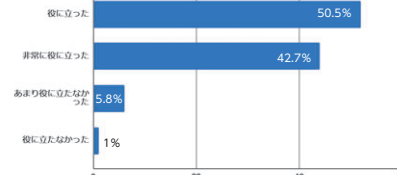
「今年度よりスマホ等にて検索できる「求人サイト」を立ち上げましたがお役に立ちましたか？」



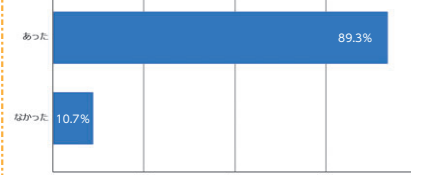
「コロナ禍にあるなか皆様と直接面談方式にて説明会を開催しましたが、どのような形がご希望ですか？」



「求人サイト以外に紙ベースにて「就職情報誌」を発行しましたがお役に立ちましたか？」



「説明会(面談)を行って、採用試験を受けたいと思った園はありましたか？」





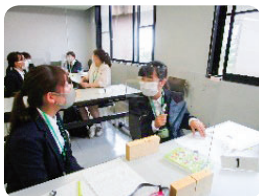
幼児教育センターだより



新規採用幼稚園教諭等研修

第二日および第三日

第二日は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、会場を宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園から総合教育センターへ変更して、五月二十八日、六月一日、六月二十五日、七月一日に実施しました。今年度は、「保育者の援助」を視点に保育映像を視聴し、「幼児・園児の姿と保育者の援助」について演習を行いました。受講者は、その中で意図をもって環境の構成をすることの大切さに気付き、考えを深めていました。



第三日は、七月二十八日に午前・午後の二部制にして総合教育センターで実施しました。

センター職員が「幼児理解・園児の理解から始まる保育」「幼児理解・園児の理解に基づいた保育を考えよう」について講話・演習を行いました。受講者は、ペアで話し合いながら、子どもの表面的な行動にとらわれずに内面を推し量ることの大切さに気付き、子どもの理解を深めていました。

また、宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園の岩淵千鶴子先生より「幼児期の保健管理と危機管理」について講話をいただきました。受講者は、自身の保育を振り返りながら、一人一人の健康状態をしっかりと把握することや、安全な環境を整えながら子どもの危険回避能力を育てることなどの大切さを感じていました。



教育課程研究集会〔幼児教育〕

第一日

六月二日に教育課程研究集会〔幼児教育〕第一日を開催しました。この研修は、文部科学省「令和三年度幼稚園教育理解推進事業」の都道府県協議会に該当するものであり、幼稚園教育の質の保証を目的としたものです。今年度の協議主題は、「新型コロナウイルス感染症対策にも配慮した幼稚園活動」「カリキュラム・マネジメントと関連付けながら実施する学校評価」「小学校との接続に向けた教育課程や指導方法の工夫」です。

午前中はリモートで、白梅学園大

学子ども学部子ども学科本山方子教授より、協議主題について解説をしていただきました。午後は、分科会ごとに、演習や協議、情報交換を通して、主題について理解を深め、今後の研究の方向性を固めました。



中堅幼稚園教諭等資質向上研修

第一日～第四日

昨年度の受講対象者を含め、本年度は六十四名の対象者が研修を受講しています。五月二十六日に第一日を、七月九日に第二日を、七月二十七日に第三日を、総合教育センターを会場にして実施しました。また、八月二十六日には第四日をオンラインで実施しました。

本研修の大きなテーマは「マネジメント」に関連する内容になります。カリキュラムマネジメントや組織マネジメント、安全管理と安全教育、特別支援教育、子育ての支援の取組等、多岐にわたる内容について講話・演習を行いました。



受講者の感想が

らは、それぞれの内容についての理解を深めながらも、自園の取組について改めて見直し、中堅としての立場から、自分のできる一歩について考えている姿が多く見られていました。今後も、中堅教諭等に必要とされる資質の向上に向けて、研修の充実を図っていききたいと思っています。

これからの研修

○トップセミナーⅡ〔経営〕

九月三十日（木）

○スキルアップセミナーⅠ

十月一日（金）

○合同研修〔幼小〕

十月二十二日（金）

十一月五日（金）、十五日（月）

○トップセミナーⅠ〔教育〕

十一月二十九日（月）

○スキルアップセミナーⅡ

十一月十四日（火）

〔幼児理解に基づく評価と要録〕

※通年の研修としてすでに申込みを終了している研修は、ここには記しておりません。

研修の実施方法の変更等がある場合には、各園にメール又はFAXにてお知らせする予定です！



★幼児教育センター研修案内よりお申し込みください！

こども政策課だより

新型コロナウイルス感染症

対策について

今年の夏も本県を含め全国各地で緊急事態宣言が再発令され、昨年引き続き我慢の夏を強いられました。

今回の感染拡大では、変異株の感染力の強さ、若年層の感染増加が報じられており、これまで以上に予断を許さない状況が続いている中、子どもたちや職員の命を守るため、日々御尽力いただいている皆様に深く敬意を表します。

県におきましても、感染防止対策の徹底や医療、療養体制の確保、事業者等への支援等に取り組んで参りますので、皆様におかれましても、引き続き、感染拡大防止に御協力をお願いします。

(県からのお願い)

・ 不要不急の外出自粛

- ・マスク着用、換気、3密の回避、手洗いなど基本的な感染防止対策
- ・飲食（飲酒）を伴うハイリスク行動の自粛等

・ 職場での「居場所の切り替わり」に注意

- ・体調が悪い場合は、仕事を休む

※季節の変わり目は体調も不安定になりがちですので、くれぐれも御自愛ください。

各種提出書類について

幼稚園運営費補助金交付申請書
提出期限 十月下旬（予定）

令和三年度幼稚園運営費補助金（一般補助分）の内定については、十月上旬を予定しています。交付申請書の提出に当たっては、別途通知する内定通知に基づき提出願います。

幼稚園運営補助金及び幼稚園教材費等補助金（特別補助分） 関係書類

(一) 特別支援教育
・提出書類

提出書類

対象園児就園状況調査

イ 対象園児担当・指導教職員に関する調書

ウ 対象園児である旨の判定調書
提出期限 十一月中旬（予定）

宗ウについては、身障者手帳、特別児童扶養手当証書、療育手帳、専門医の診断書又は、児童相談所等の判定書のいずれが必要となります。

また、学級担任以外の教職員から特別な教育支援を受けている幼児が補助対象園児となりますので、御留意願います。

(二) 子育てランド事業

二) 子育

子育て・ランド事業実施計画書
各事業における保護者等への

案内通知(写)

案内

・提出期限 十一月上旬(予定)

(三) わんぱく保育推進事業

(三) わん

ア わんぱく保育推進事業実施計画書

イ 預かり保育実施記録

ウ 保護者等への案内通知（写）

※各種提出書類の詳細については、別途送付する通知文を参照の上、期限までに提出願います。

令和三年
十月～十二月までの事業予定

12月22日	12月22日	12月15日	12月14日	12月9日	11月18日	11月17日	11月16日	11月15日	11月14日	11月13日	11月12日	11月11日	11月10日	11月9日	11月5日	11月4日	10月26日	10月22日	10月15日	10月14日	10月1日			
②新採研(集合研修)	①新採研(集合研修)	保育セオリー講座	※ スキルアップセミナーⅡ	※ トップセミナーⅠ	※ 幼児期の特別支援教育研修	※ 認定こども園委員会研修会	※ 資質向上研修(保育におけるICT)	※ 保育セオリー講座	※ 合同研修(幼小小)	※ 資質向上研修(公開保育)	※ 合同研修(幼小小)	※ 合同研修(幼小小)	※ 保育テクニカル講座	※ 幼稚園等教職の年目研修	※ 全日私塾 関東地区代表者協議会埼玉県とちぎ教育振興大会	※ 幼稚園等教職の年目研修	※ 合同研修(幼小小)	※ 資質向上研修(視察研修)	※ 設置者・園長研修会	※ 資質向上研修(幼小小)	※ 幼稚園教育振興の集い(高根沢町)	※ 中堅幼稚園教諭等資質向上研修	※ 指導助言者説明会	※ スキルアップセミナーⅠ
※は幼児教育センター事業																								

卜
報

● 宇都宮市 認定こども園平出むつみ幼稚園

元理事長 田崎 又一郎 先生

令和三年七月二十日 逝去

● 鹿沼市 鹿沼幼稚園

理事長・園長 上沢 幸恵 先生
令和三年八月二十六日 逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

編集後記

画面を見ない日はない。朝起きたらスマホで天気とニュースをチェックし、職場ではパソコンの画面に向かい、帰宅後はタブレットで映画鑑賞。そんな日常を過ごす人は少なくないだろう。画面、またインターネットといかに上手く付き合うのか、わたしたちは試行錯誤の中にいる。9月半ば、久々に登園してきた子どもたちに休み中の出来事を聞くと、そこでもYouTubeやゲームの影が色濃いことが印象的だった。幼稚園はもちろん、どこにも行けない環境の中で各家庭が子どもの保育に苦労してきたことが、そこから浮かび上がる。

様々な会が延期や各種変更を余儀なくされた。関わる方々のご苦労の重さを紙面から拝察する。そのご苦労から良いものが生じていることもまた。一堂に会する喜びもあるが、宇都宮から離れた地に住んでいる身としてはリモートの有り難さも実感する。

課題があるところに大きな可能性もあることを実感する今日この頃である。

(足利みどり幼稚園 望月 麻生)